

大山～梅の木尾根～日向薬師

期 日：2016年5月1日（日） 晴れ

コース：秦野9：20→ヤビツ峠10：00～10：10→大山11：27→分岐→梅の木尾根入口12：12→778ピーク13：03～13：20→大沢分岐13：35→日向薬師裏（梅の木の有る所）15：25→日向薬師バス停15：45→伊勢原16：14発→海老名16：34発→瀬谷16：46着

参加者：M・T単独

報 告：



秦野9：20分と遅い出発だったが、バスは座れない人がいた。ヤビツ峠からイタツミ尾根を登るのは久しぶり。キジムシロとスミシガ登山道を飾っていた。平日と違い子供連れの家族が多く楽しい雰囲気溢れていた。子供の声は山を明るく安全な場所と思わせるが。。。。山頂は登山客で溢れ、丁度見頃の桜の写真を撮り休む事無く見晴台方面に向かう。降りにくい階段を下りだすとすぐにグズる幼児に出くわす。



す。母親がストックを貸してくれないとグズグズ。母親は貸してあげると諭すもそれを借りて「お母さんが死んじゃうと困る」と受け取らない。ザックから未開封のアーモンドチョコを出し「偉いね。どうぞ」と差し出す。気分を直し元気よく下り出す。最後まで一緒に行こうと誘ってくれる太一君に別れを告げ最初の標識で不動尻方面に左折する。別れる事に必死で標識写真撮り忘れる。山は一人の時

一人静かに歩くのがいい。一人になりホットするも急階段が待ち受けていてがっくり。膝を痛める前までは急階段を嫌がる事は無かったが最近では凄く厭だ。突然、登山者が少なくなる。

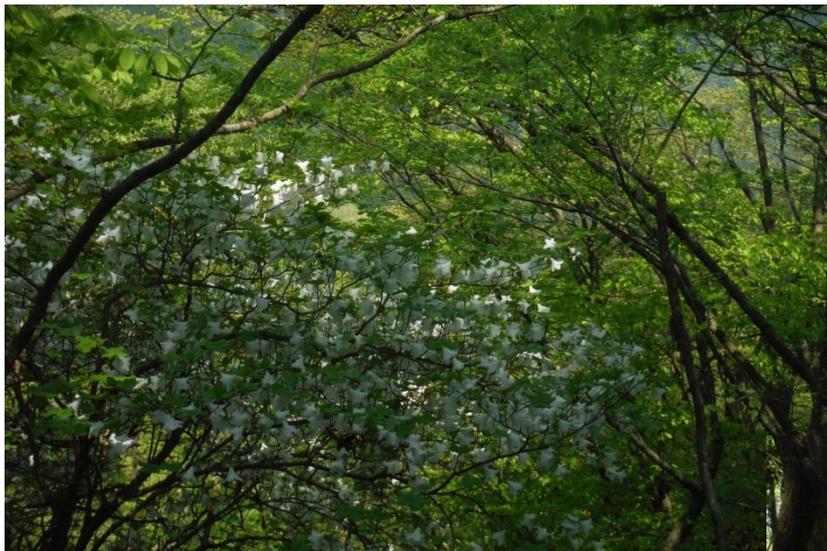
見覚えの有る鎖場。以前来た時はピカピカだった鎖は錆びて触るとひどく汚れそうな状態だった。時間が経った事を感じる。確かこの先に右へのルートが有る。標識は無いが小枝に赤テープ有りは昔の話。最近ではあちこちに手書きの案内が有る。





ここかと思う場所に古い赤テープの上にピンクテープ有り。良く見ると道標にはマジックで何か書かれている。字は消えて見えないが↑がはっきり書かれている。ここに間違いないと確信し立ち入り禁止のザイルを跨いで梅の木尾根に入る。いきなりの戯れた急坂の下りに一瞬いや暫く考える。10年近く前に来た時には危険を感じた覚えはないが今回は一人

で来てはいけない場所と感じた。山が荒れた事よりも自分の年令の進み方が感じ方を変えたのだろう。最初の危険な下りを終えこの先進むかどうか考える。引き返すなら今だと思いつつ足は前へ動いている。痩せ尾根では有るが注意さえすれば大丈夫な登山道になっていた。お腹も空いてきたが、日陰ゆえ目にはいない蛙が怖くて休めない。日の射す所迄歩くことにする。



思いがけず左手にシロヤシオの花を見つける。大峠から行く雁ヶ腹摺山の檜の木尾根のシロヤシオも咲いているのだろうか。イワカガミの葉も見だし次は檜の木尾根と欲が出る。今は梅の木尾根だ。気を引き締めて。痩せ尾根では有るが入口の様な危険は無い。



最近マジックを持ってどこにでも、それぞれが書く。この後何回もポールに書かれた案内を見つける。正しければ有り難いが。。。。





778 ピークでやっと日当たりを見つけお昼とする。思い立って急に出てきたので今日はカップラーメン。今日初めての大休止。この後大沢分岐に向かう。大沢分岐で鐘ヶ岳に向かう弁天御髪尾根を北東に分けこちらは南東に向かう。

木立の間から垣間見える大山。



ポールに書かれた二ノ沢ノ頭の文字。南西に向かう支尾根の方にも赤テープ有り。地図にはルート記入無いがふれ合いの森日向キャンプ場に向かう支尾根かと思う。此方は東に向かう尾根を辿る。とにかく今日は主尾根を外さない事だ。



このベンチの所は、今年一人で来た場所なのでもう安心とほっとする。日向薬師の文字の上に手書きで大山と書かれている。尚も、日向山目指して進む。今日降りてきた尾根を登るのは私にはキツイ。気が向いたら近いうちに登るか？日向薬師バス停と日向山の分岐でこの尾根に入って初めて日向山から下りてくる人の姿を見つける。今日探していたご近所の方でした。数日前に出会った時に今日の行程をお聞きしていたので偶

然の出会いを期待した今日の山行でした。大成功。もちろん、疲れていたもので日向山には登らず一緒に日向薬師バス停に向かう。歩いていると、次は弁天御髪尾根・櫛の木尾根と行きたい山が浮かんでくるが、足も体力・気力も追いつかない今日この頃です。